

2020年3月期第1四半期決算

株式会社 野村総合研究所
代表取締役 専務執行役員

深美 泰男

2019年7月25日



1 2020年3月期第1四半期決算について

2 最近の取り組み

3 参考資料

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

NRI
Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

1

1.2020年3月期第1四半期決算について

- 2 決算ハイライト（前年比）
- 3 決算のポイント
- 4 セグメント別外部売上高
- 5 セグメント別外部売上高（補足情報）
- 6 セグメント別損益
- 7 増減要因分析
- 8 サービス別外部売上高
- 9 連結P/Lハイライト
- 11 セグメント別外部受注残高
- 12 セグメント別外部受注残高（国内/海外別）
- 13 売上高＋受注残高（当期売上予定分）
- 14 1Qの実績及び通期の業績見通し

2.最近の取り組み

- 16 中長期の成長に向けた施策
- 17 自己株式の公開買付けについて

3.参考資料

- 19 セグメント別外部受注高
- 20 セグメント別外部受注高（国内・海外）
- 21 DX関連売上
- 22 通期業績予想
- 24 セグメント別売上高 業績予想参考値
- 25 サービス別外部売上高 業績予想参考値
- 26 設備投資、減価償却費 業績予想参考値
- 27 業績予想 ＜上期・下期＞
- 28 セグメント別売上高予想参考値 ＜上期・下期＞
- 29 サービス別売上高予想参考値 ＜上期・下期＞
- 30 業績予想参考値 ＜収支モデル＞
- 31 社員数＋国内・中国パートナー要員数

2020年3月期第1四半期決算について

決算ハイライト

■ 前年同期との比較 (*は参考数値)

(百万円)

	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	117,758	129,495	11,737	10.0%
営業利益 (のれん償却前) *	16,258	21,170	4,911	30.2%
営業利益	15,334	20,353	5,019	32.7%
営業利益率 (のれん償却前) *	13.8%	16.3%	2.5P	
営業利益率	13.0%	15.7%	2.7P	
EBITDAマージン	20.1%	22.4%	2.3P	
経常利益	15,865	21,162	5,297	33.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,161	14,245	3,084	27.6%

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

NRI
Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

2

- 売上高は10%増の1,294億円 営業利益は33%増の203億円
- 売上高、営業利益、営業利益率いずれも1Qとしての過去最高を達成。

決算のポイント

■売上高は10.0%の増収

- 金融ITは、保険業・銀行業向け開発案件の好調により増収
- コンサルティング、産業ITは、国内DX案件が好調を継続

■営業利益は32.7%の増益

- 金融ITは増収効果と大型の製品販売等により収益性が回復
- 産業ITにおける収益性向上も寄与

中期経営計画（2019-2022）が順調に滑り出し

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

NRI
Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

3

➤ 売上高

- ・ 金融IT
保険業向け、銀行向けの開発案件が好調により増収。
- ・ コンサルティング、産業IT
国内のDX案件が引き続き好調により増収。

➤ 営業利益

- ・ 金融ITでは、前述の増収効果に加えて、証券業向けで一過性の大型製品販売があり収益が回復。一方で、依然として金融業向け、特に証券業向けでは、厳しい事業環境が続いている認識は変わらない。
- ・ 産業ITでは、プロジェクトの収益性向上が増益に寄与。

2020年3月期第1四半期決算について

セグメント別外部売上高

(百万円)

	2019年3月期 第1四半期※	構成比	2020年3月期 第1四半期	構成比	増減額	増減率
コンサルティング	7,295	6.2%	7,621	5.9%	326	4.5%
金融ITソリューション	58,695	49.8%	68,027	52.5%	9,332	15.9%
証券業	24,186	20.5%	27,400	21.2%	3,214	13.3%
保険業	13,745	11.7%	16,711	12.9%	2,966	21.6%
銀行業	9,958	8.5%	12,629	9.8%	2,671	26.8%
その他金融業等	10,806	9.2%	11,285	8.7%	479	4.4%
産業ITソリューション	44,753	38.0%	45,804	35.4%	1,050	2.3%
流通業	16,059	13.6%	17,645	13.6%	1,586	9.9%
製造・サービス業等	28,694	24.4%	28,158	21.7%	△535	△1.9%
IT基盤サービス	7,013	6.0%	8,041	6.2%	1,028	14.7%
合 計	117,758	100.0%	129,495	100.0%	11,737	10.0%

※ 2019年4月1日付で海外子会社ASGグループの事業全てを産業ITソリューションセグメントに区分変更しています。
 なお、前年同期比較については当該変更後の区分による前年同期の数値を用いています。

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

NRI

Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

4

- コンサルティングは、システムコンサルティングを中心に好調が継続しており、前期を上回り増収。
- 金融ITは、
 - ・証券業向けは、共同利用型サービスTHE STAR導入案件に伴う開発案件や一時的な製品販売があったものの、依然厳しい事業環境は継続している。
 - ・保険業向けは、損保業向けを中心にSI案件が好調。
 - ・銀行業向けは、オンラインバンク向けSI案件が好調。
 - ・結果として、金融ITは全業種向けで増収。
- 産業ITは、
 - ・流通業は、セブン&アイホールディングス向けSI案件を中心に増収。
 - ・製造・サービス業等は全体として減収も、内訳では国内事業が増収、海外事業が減収。

2020年3月期第1四半期決算について

セグメント別外部売上高 (補足情報)

■ 主要顧客別売上高

(百万円)

	2019年3月期 第1四半期	割合※	2020年3月期 第1四半期	割合※	増減額	増減率
野村ホールディングス	14,192	12.1%	14,799	11.4%	607	4.3%
セブン&アイ・ホールディングス	12,019	10.2%	13,090	10.1%	1,071	8.9%

※ 外部売上高（合計）に対する割合

■ 海外売上高

(百万円)

	2019年3月期 第1四半期	割合※	2020年3月期 第1四半期	割合※	増減額	増減率
海外売上高	14,675	12.5%	12,686	9.8%	△1,988	△13.6%
北米*	2,620	2.2%	2,351	1.8%	△269	△10.3%
オセアニア*	10,120	8.6%	8,873	6.9%	△1,247	△12.3%
アジア・その他*	1,934	1.6%	1,462	1.1%	△472	△24.4%

* 地域別については顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類したものを参考数値として記載しております。

※ 外部売上高（合計）に対する割合

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

NRI

Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

5

- 野村ホールディングス向けは、前期と同水準である年間売上高600億円ペースでの進捗。厳しい事業環境は継続しており、SI案件も発生しにくい状況。
- セブン&アイホールディングス向けは、消費税増税対応など一過性のSI案件を含めて活況。また、ご質問のあった7pay（セブンペイ）の不正アクセス問題については、当社が開発・運用を請け負うシステムに起因するものではなく、直接的な業績への影響は無いと考えている。
- 海外事業は、豪州を中心に約20億円の減収。豪州の減収要因は、為替レートの影響（対豪ドルで円高）と豪ドルベースでの減少がそれぞれおよそ半分ずつ。

2020年3月期第1四半期決算について

セグメント別損益

■ 各セグメントの売上高は内部売上高を含む

(百万円)

		2019年3月期 第1四半期※	2020年3月期 第1四半期	増減額	増減率
コンサルティング	売上高	7,419	7,767	348	4.7%
	営業利益	1,133	613	△519	△45.8%
	営業利益率	15.3%	7.9%	△7.4P	
金融ITソリューション	売上高	59,330	68,592	9,262	15.6%
	営業利益	6,165	10,312	4,146	67.3%
	営業利益率	10.4%	15.0%	4.6P	
産業ITソリューション	売上高	45,371	46,470	1,099	2.4%
	営業利益	4,296	5,190	894	20.8%
	営業利益率	9.5%	11.2%	1.7P	
IT基盤サービス	売上高	29,692	31,957	2,264	7.6%
	営業利益	3,402	3,955	553	16.3%
	営業利益率	11.5%	12.4%	0.9P	

※ 2019年4月1日付で海外子会社ASGグループの事業全てを産業ITソリューションセグメントに区分変更しています。
なお、前年同期比較については当該変更後の区分による前年同期の数値を用いています。

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

NRI

Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

6

- コンサルティングは、前期比減益も、前期に収益性の高い案件が多かったことが要因。2期前あるいは3期前と比較しても、高水準の利益率を確保しており、好調を維持。
- 金融ITは、保険業向け、銀行業向けのSI案件及び共同利用型サービスTHE STARの新規導入及びそれに付随する製品販売が増益に貢献。加えて、前期まで進めてきたリソースシフトによる効率化が進み、稼働率向上が増益に寄与。
- 産業ITは、開発プロジェクト活況により稼働率が向上し、併せて収益性も向上し増益。
- IT基盤は、クラウドサービス等の伸びが増益に寄与。

2020年3月期第1四半期決算について

増減要因分析

- セグメント別外部売上高および、セグメント別損益の主な増減要因は以下の通り。

(凡例) (+) 増加要因、(-) 減少要因

セグメント		外部売上高	営業利益
コンサルティング			
金融IT ソリューション	証券業	(+)証券会社向け製品販売	(+)増収効果による増益 (+)体制シフトによる稼働率の上昇
	保険業	(+)生損保業向けシステム開発	
	銀行業	(+)新形態銀行向けシステム開発	
	その他金融業等		
産業IT ソリューション	流通業	(+)セブン&アイ・ホールディングス含む複数顧客向け増加	(+)複数の主要顧客向け増収効果 (+)案件増加に伴う稼働率の上昇
	製造・サービス業等		
IT基盤サービス		(+)デジタルワークプレイス、クラウド関連事業増加	

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

NRI

7

2020年3月期第1四半期決算について サービス別外部売上高

(百万円)

	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	増減額	増減率
コンサルティングサービス	21,267	21,197	△70	△0.3%
開発・製品販売	32,975	41,251	8,275	25.1%
運用サービス	59,704	62,313	2,609	4.4%
商品販売	3,810	4,733	922	24.2%
合 計	117,758	129,495	11,737	10.0%

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

NRI
Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

8

- コンサルティングサービスの減少は、ASGのコンサルティング事業の減少によるもの。国内事業では約8%の増加。
- 開発・製品販売、運用サービスともに順調に増収。

2020年3月期第1四半期決算について 連結P/Lハイライト

(百万円)

	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	117,758	129,495	11,737	10.0%
売上原価	79,308	85,392	6,084	7.7%
外注費	34,522	39,064	4,542	13.2%
売上総利益	38,450	44,102	5,652	14.7%
売上総利益率	32.7%	34.1%	1.4P	
販管費	23,115	23,749	633	2.7%
のれん償却額	923	816	△107	△11.6%
営業利益	15,334	20,353	5,019	32.7%
営業利益率	13.0%	15.7%	2.7P	

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

NRI
Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

9

- のれん償却額の減少は、前期末にあったB+Pののれん減損によるもの。

2020年3月期第1四半期決算について

連結P/Lハイライト 続き

(百万円)

	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	増減額	増減率
営業利益	15,334	20,353	5,019	32.7%
営業外損益	530	808	278	52.5%
受取配当金	647	602	△44	△6.9%
経常利益	15,865	21,162	5,297	33.4%
特別損益	1,227	△10	△1,237	
投資有価証券売却益	1,114	—	△1,114	
法人税等	5,799	6,791	991	17.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,161	14,245	3,084	27.6%

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

NRI

10

2020年3月期第1四半期決算について

セグメント別外部受注残高 (合計)

(百万円)

	2018年6月末※	2019年6月末	増減額	増減率
コンサルティング	9,268	9,954	685	7.4%
金融ITソリューション	117,526	128,894	11,367	9.7%
産業ITソリューション	82,501	83,708	1,206	1.5%
IT基盤サービス	11,949	12,558	609	5.1%
合 計	221,245	235,115	13,869	6.3%
うち、当期売上予定分	219,523	228,872	9,349	4.3%

※ 2019年4月1日付で海外子会社ASGグループの事業全てを産業ITソリューションセグメントに区分変更しています。
 なお、前年同期比較については当該変更後の区分による前年同期の数値を用いています。

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

NRI
 copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

11

セグメント別外部受注残高 (国内/海外別)

■ 国内分受注残高

(百万円)

	2018年6月末※1	2019年6月末	増減額	増減率
コンサルティング	8,689	9,550	860	9.9%
金融ITソリューション	116,827	128,282	11,455	9.8%
産業ITソリューション	56,351	57,660	1,308	2.3%
IT基盤サービス	11,949	12,558	609	5.1%
合 計	193,817	208,051	14,233	7.3%

※1 2019年4月1日付で海外子会社ASGグループの事業全てを産業ITソリューションセグメントに区分変更しています。
 なお、前年同期比較については当該変更後の区分による前年同期の数値を用いています。

■ 海外子会社分受注残高

(百万円)

	2018年6月末	2019年6月末	増減額	増減率
海外子会社※2	27,428	27,064	△363	△1.3%

※2 本社所在地を海外とするグループ会社を分類しています。

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

NRI
 Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

12

● 国内

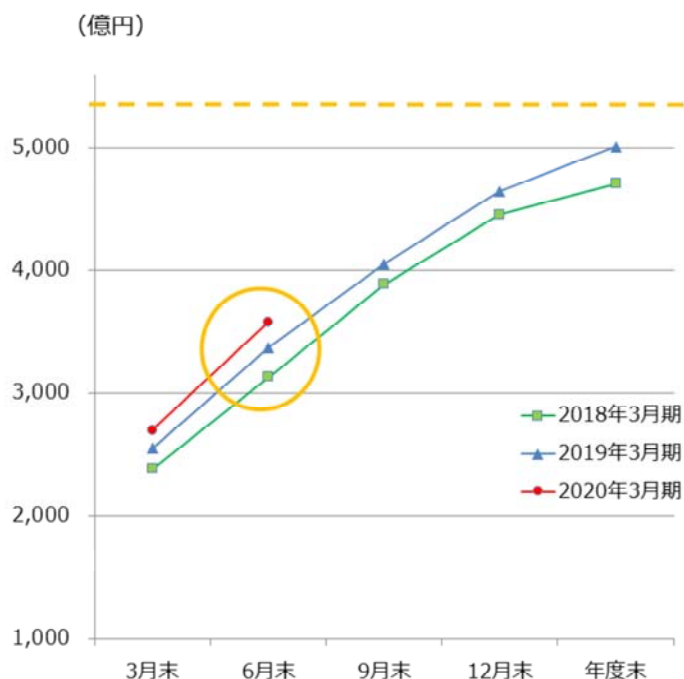
- コンサルティングは期初の受注残が前期比マイナスであったものの、1Qの受注が好調だったため、1Q末時点では前期比で増加し、好調を継続。
- 金融ITは、前期比増加している保険業などでは1Qの好調が継続すると見ている。
- 産業ITはコンサルティング、金融ITと比較すると若干緩やかな増加にとどまった。要員は高稼働状態で推移しており新規受注をやや抑制したことが要因。1Q末時点の受注残は上期業績予想に対してインラインの水準だが、下期に向けては、今後、受注の積み上げが必要。

● 海外

- 豪州事業が為替レートの影響（豪ドルに対して円高）により受注残が減少しているが、豪ドルベースでは約4-5%増加。

2020年3月期第1四半期決算について

売上高 + 受注残高（当期売上予定分）



	2019年 3月期	2020年 3月期	増減
売上高（通期）※1	5,012	5,300	+5.7%
売上高※2	3,372	3,583	+6.3%
+受注残高※3			
進捗率	67.3%	67.6%	0.3P

(※1) 2019年3月期は実績値、2020年3月期は予想値

(※2) 第1四半期末時点の売上高の実績値

(※3) 第1四半期末時点の受注残高（当期売上予定分）

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

NRI

13

- 今期の目標に対して受注残は着実に積み上がっており、通期業績予想達成に向けインラインに進捗している状況。

2020年3月期第1四半期決算について

1Qの実績及び通期の業績見通し

(億円)

		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2017年3月期	売上高	1,003	1,027	1,053	1,160	4,245
	営業利益	136	126	163	158	585
	営業利益率	13.6%	12.3%	15.5%	13.7%	13.8%
2018年3月期	売上高	1,066	1,135	1,213	1,298	4,714
	営業利益	131	159	175	185	651
	営業利益率	12.3%	14.1%	14.4%	14.3%	13.8%
2019年3月期	売上高	1,177	1,226	1,266	1,341	5,012
	営業利益	153	177	183	200	714
	営業利益率	13.0%	14.5%	14.5%	14.9%	14.3%
2020年3月期 1Qは実績 2Q以降は予想	売上高	1,294	1,255	2,750		5,300
	営業利益	203	156	400		760
	営業利益率	15.7%	12.5%	14.5%		14.3%

(注) 2020年3月期2Qの数字は、上期業績予想から1Qの実績を差し引いた数字

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. NRI

14

- 今期1Qは売上高、営業利益ともに好調であった。
- 一方で、今期、そして新中期経営計画が始まったばかりであること、また、通常は1Qの業績により通期業績予想修正を行っていないことから、今回のタイミングでは同様に予想修正は行わない。足元の受注状況は好調であると考えている。

1 2020年3月期第1四半期決算について

2 最近の取り組み

3 参考資料

中長期の成長に向けた施策

野村ホールディングスとの合併会社の設立合意

- 「ブロックチェーン技術」により有価証券やその他の権利を発行・流通するための新たな基盤の構築及び支援事業（コンサルティング、ITサービス提供等）を行う
 - 設立予定日：2019年8月目処
 - 出資比率：野村ホールディングス 66%、NRI 34%を予定

QUICKとの合併会社の設立合意

- タブレット端末を使った分かりやすい説明や、海外株・証券化商品等の複雑な商品に関する情報提供など、金融機関の営業高度化・業務効率化を支援するシステムの開発・サービスの提供を行う
 - 設立予定日：2019年10月1日
 - 出資比率：NRI 51%、QUICK 49%を予定

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

NRI

16

- 野村ホールディングスとの合併会社は、DX2.0の領域での取り組みの一つ。これまで産業分野が中心であったが、金融分野での合併会社設立によるDX2.0の取組みとして初になる。
- QUICKとの合併会社は、両社が似た領域で開発しているものを共通化し、より効率的な開発を可能とし、新たなサービス開発も目指す。

自己株式の公開買付けについて

■ 資本効率・株主価値の向上、及び更なる経営の独立性向上を目的として実施

買付期間	2019年7月1日～2019年7月29日（20営業日）
買付予定総額	約1,600億円
買付予定株数	101,910,700株 ・ 野村HDが応募する予定の株数が全て割り当てられた場合、野村HDの持株比率が36.6%から23.1%に低下の見込み。
買付価格	1,570円（6月17日の終値に対し9.4%ディスカウント）
戦略への影響	・ 中期経営計画で定めた成長戦略に変更は無し
資本政策への影響	・ 財務規律を引き続き重視し、財務の健全性および安定性を維持 ・ 配当性向は、35%の目安を維持

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

NRI
Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

17

- 本日現在まだ買付期間中のため、アップデートはないものの、改めて説明。
- 当社はV2022にて、資本効率向上を進め、ROE向上を重要な経営目標と位置付けて推進してきた。2019年5月末に野村ホールディングスから当社株式の一部売却意向を受け、多様な視点から十分に検討を重ねた結果、当社が当該株式を取得する判断をした。加えて、当社にとって、より一層の経営の独立性の向上にもつながると考えている。

1 2020年3月期第1四半期決算について

2 最近の取り組み

3 参考資料

セグメント別外部受注高（合計）

（百万円）

	2019年3月期 第1四半期※	2020年3月期 第1四半期	増減額	増減率
コンサルティングサービス	12,480	14,016	1,536	12.3%
金融ITソリューション	34,648	41,991	7,343	21.2%
産業ITソリューション	30,453	28,939	△1,513	△5.0%
IT基盤サービス	4,667	5,990	1,323	28.4%
合 計	82,249	90,938	8,688	10.6%

※ 2019年4月1日付で海外子会社ASGグループの事業全てを産業ITソリューションセグメントに区分変更しています。
なお、前年同期比較については当該変更後の区分による前年同期の数値を用いています。

セグメント別外部受注高（国内/海外別）

■ 国内分受注高

（百万円）

	2019年3月期 第1四半期※1	2020年3月期 第1四半期	増減額	増減率
コンサルティング	11,344	13,009	1,665	14.7%
金融ITソリューション	33,467	40,817	7,350	22.0%
産業ITソリューション	25,871	23,101	△2,770	△10.7%
IT基盤サービス	4,652	5,946	1,294	27.8%
合 計	75,335	82,874	7,539	10.0%

※1 2019年4月1日付で海外子会社ASGグループの事業全てを産業ITソリューションセグメントに区分変更しています。
なお、前年同期比較については当該変更後の区分による前年同期の数値を用いています。

■ 海外子会社分受注高

（百万円）

	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	増減額	増減率
海外子会社※2	6,914	8,063	1,149	16.6%

※2 本社所在地を海外とするグループ会社を分類しています。

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

NRI

Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

DX関連売上

■ 期中の主要なDX関連事業

- DXコンサルティング
 - ・ SCM改革など業務効率化、デジタルITマネジメント、公共分野 等
- データアナリティクス
- 金融向けビジネスプラットフォーム導入
- ECサイト構築（D2C案件） ※D2C : Direct to Consumer
- PCI推進（ERPパッケージやクラウドへのマイグレーション）
- デジタルワークプレイス推進

DX関連指標（2020年3月期第1四半期）

DX関連売上	737億円
DX関連売上比率	57%

通期業績予想

■ 業績予想の修正はありませんが、指標を再計算しています

(億円)

	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (予想)	増減額	増減率
売上高	5,012	5,300	287	5.7%
営業利益	714	760	45	6.4%
営業利益率	14.3%	14.3%	0.1P	
経常利益	724	770	45	6.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	509	550	40	8.0%
1株当たり当期純利益 (EPS) ※	¥72.11	¥79.21	¥7.10	
1株当たり年間配当金※	¥30.00	¥30.00	-	
第2四半期末※	¥15.00	¥15.00	-	
期末※	¥15.00	¥15.00	-	
配当性向	41.5%	38.4%	△3.1P	

※ 当社は2019年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。
1株当たり配当金は、前年度の期首に株式分割が行われたと仮定して調整を行った値を記載しています。
この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

NRI

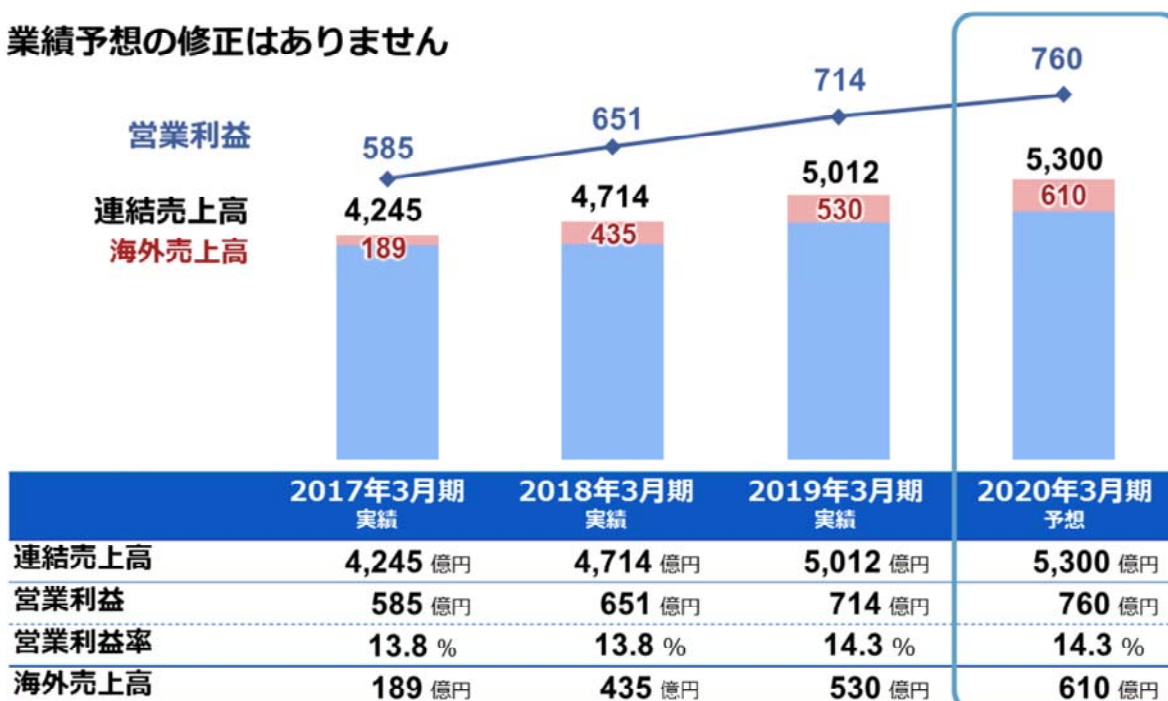
copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

22

通期業績予想

(億円)

■ 業績予想の修正はありません



この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

NRI

23

セグメント別外部売上高 業績予想参考値

■ 業績予想の修正はありません

(億円)

	2019年3月期 (実績) ※	構成比	2020年3月期 (予想)	構成比	増減額	増減率
コンサルティング	348	7.0%	370	7.0%	21	6.2%
金融ITソリューション	2,523	50.3%	2,660	50.2%	136	5.4%
証券業	1,003	20.0%	1,100	20.8%	96	9.7%
保険業	648	12.9%	660	12.5%	11	1.7%
銀行業	434	8.7%	450	8.5%	15	3.7%
その他金融業等	437	8.7%	450	8.5%	12	2.8%
産業ITソリューション	1,808	36.1%	1,900	35.8%	91	5.0%
流通業	668	13.3%	680	12.8%	11	1.8%
製造・サービス業等	1,140	22.8%	1,220	23.0%	79	7.0%
IT基盤サービス	331	6.6%	370	7.0%	38	11.6%
合 計	5,012	100.0%	5,300	100%	287	5.7%

※ 2019年4月1日付で海外子会社ASGグループの事業全てを産業ITソリューションセグメントに区分変更しています。
 なお、前年同期比較については当該変更後の区分による前年同期の数値を用いています。

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

NRI

Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

24

サービス別外部売上高 業績予想参考値

■ 業績予想の修正はありません

(億円)

	2019年3月期 通期 (実績)	2020年3月期 通期 (予想)	増減額	増減率
コンサルティングサービス	908	950	41	4.6%
開発・製品販売	1,504	1,650	145	9.7%
運用サービス	2,442	2,550	107	4.4%
商品販売	156	150	△6	△4.4%
合 計	5,012	5,300	287	5.7%

設備投資、減価償却費 業績予想参考値

■ 業績予想の修正はありません

■ 投資等

(億円)

	2019年3月期 通期（実績）	2020年3月期 通期（予想）	増減額	増減率
設備投資	262	300	37	14.2%
有形固定資産	56	80	23	42.5%
無形固定資産	206	220	13	6.5%
研究開発費	36	40	3	9.1%

■ 減価償却費

(億円)

	2019年3月期 通期（実績）	2020年3月期 通期（予想）	増減額	増減率
合 計	304	310	5	1.9%

業績予想 <上期・下期>

■ 業績予想の修正はありません

■ 上期

(億円)

	2019年3月期 上期 (実績)	2020年3月期 上期 (予想)	増減額	増減率
売上高	2,404	2,550	145	6.1%
営業利益	331	360	28	8.7%
営業利益率	13.8%	14.1%	0.3P	
経常利益	335	370	34	10.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	229	260	30	13.3%

■ 下期

(億円)

	2019年3月期 下期 (実績)	2020年3月期 下期 (予想)	増減額	増減率
売上高	2,608	2,750	141	5.4%
営業利益	383	400	16	4.3%
営業利益率	14.7%	14.5%	△0.2P	
経常利益	388	400	11	3.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	279	290	10	3.6%

NRI

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

セグメント別売上高予想参考値＜上期・下期＞

■ 業績予想の修正はありません

(億円)

■ 上期

	2019年3月期 上期 (実績) ※	構成比	2020年3月期 上期 (予想)	構成比	増減額	増減率
コンサルティング	159	6.6%	170	6.7%	10	6.9%
金融ITソリューション	1,203	50.0%	1,290	50.6%	86	7.2%
証券業	484	20.1%	550	21.6%	65	13.6%
保険業	293	12.2%	300	11.8%	6	2.3%
銀行業	209	8.7%	220	8.6%	10	4.9%
その他金融業等	216	9.0%	220	8.6%	3	1.8%
産業ITソリューション	895	37.2%	920	36.1%	24	2.8%
流通業	325	13.5%	330	12.9%	4	1.4%
製造・サービス業等	569	23.7%	590	23.1%	20	3.5%
IT基盤サービス	146	6.1%	170	6.7%	23	16.0%
合 計	2,404	100.0%	2,550	100.0%	145	6.1%

(億円)

■ 下期

	2019年3月期 下期 (実績) ※	構成比	2020年3月期 下期 (予想)	構成比	増減額	増減率
コンサルティング	189	7.3%	200	7.3%	10	5.6%
金融ITソリューション	1,320	50.6%	1,370	49.8%	49	3.7%
証券業	518	19.9%	550	20.0%	31	6.0%
保険業	355	13.6%	360	13.1%	4	1.3%
銀行業	224	8.6%	230	8.4%	5	2.5%
その他金融業等	221	8.5%	230	8.4%	8	3.7%
産業ITソリューション	913	35.0%	980	35.6%	66	7.3%
流通業	342	13.1%	350	12.7%	7	2.1%
製造・サービス業等	570	21.9%	630	22.9%	59	10.4%
IT基盤サービス	185	7.1%	200	7.3%	14	8.1%
合 計	2,608	100.0%	2,750	100.0%	141	5.4%

※ 2019年4月1日付で海外子会社ASGグループの事業全てを産業ITソリューションセグメントに区分変更しています。なお、前年同期比較については当該変更後の区分による前年同期の数値を用いています。

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

NRI

Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

サービス別売上高予想参考値 <上期・下期>

■ 業績予想の修正はありません

(億円)

■ 上期

	2019年3月期 上期 (実績)	2020年3月期 上期 (予想)	増減額	増減率
コンサルティングサービス	437	440	2	0.6%
開発・製品販売	689	800	110	16.0%
運用サービス	1,204	1,240	35	2.9%
商品販売	72	70	△2	△4.0%
合 計	2,404	2,550	145	6.1%

(億円)

■ 下期

	2019年3月期 下期 (実績)	2020年3月期 下期 (予想)	増減額	増減率
コンサルティングサービス	470	510	39	8.3%
開発・製品販売	815	850	34	4.3%
運用サービス	1,238	1,310	71	5.8%
商品販売	83	80	△3	△4.7%
合 計	2,608	2,750	141	5.4%

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

NRI

29

業績予想参考値 <収支モデル>

■ 業績予想の修正はありません

■ 売上高5,300億円・営業利益760億円の収支モデル

(億円)

	2018年3月期 通期 (実績)	2019年3月期 通期 (実績)	2020年3月期 通期 (予想) ※	前期比	
				増減額	増減率
売上高	4,714	5,012	5,300	287	5.7%
売上原価	3,118	3,365	3,560	194	5.8%
うち労務費	1,040	1,111	1,160	48	4.4%
うち外注費	1,355	1,506	1,600	93	6.2%
うち減価償却費	300	287	290	2	1.0%
売上総利益	1,596	1,647	1,740	92	5.6%
売上総利益率	33.9%	32.9%	32.8%	△0.0P	
販管費	944	932	980	47	5.0%
営業利益	651	714	760	45	6.4%
営業利益率	13.8%	14.3%	14.3%	0.1P	

※ 収支モデル作成のための想定値

この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

Copyright© Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

NRI

30

社員数+国内・中国パートナー要員数

■ NRIグループ社員

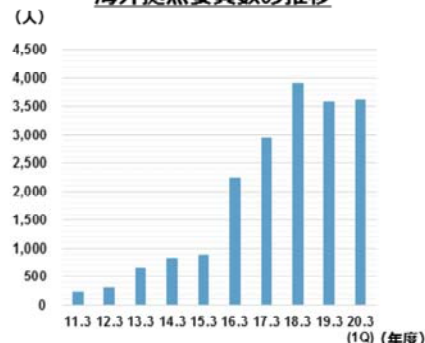
12,935人※

- 経営コンサルタント
- システムコンサルタント
- アプリケーションエンジニア
- テクニカルエンジニア など

社員数の推移



海外拠点要員数の推移



■ パートナー

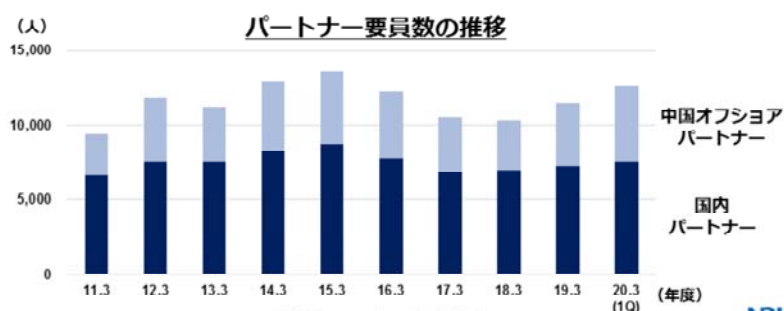
中国オフショアパートナー

19地域19社
約5,000人

国内パートナー

約7,500人

パートナー要員数の推移



この資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。

※人数は2019年6月末時点

Copyright © Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

NRI

- 本資料は、株式会社野村総合研究所が業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的として作成したものです。
- 本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
- 本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
- 本資料の一切の権利は別段の記載がない限り株式会社野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。
- 業績予想に関する参考値は当社の現状及び見通しをご理解いただくために目安となる値を表示したものです。なお、新たな情報や事象が生じた場合において、当社が業績見直し等を常に見直すとは限りません。

The logo features the text "Share the Next Values!" in a bold, italicized, blue sans-serif font. The text is centered and flanked by two curved, swoosh-like graphic elements. The swoosh on the left is a solid blue arc. The swoosh on the right is a multi-colored arc that transitions from blue on the left to red on the right, with a gradient in between.

Share the Next Values!